

美術科評価計画(各学年共通)

【評価方法】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・歴史や文化への理解 ・課題を理解して制作できる ・アイデアを具体化できる技術 ・適切な道具の使用 ・定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を理解して作業できる ・アイデアスケッチ ・言葉や作品で自己表現できる ・創意工夫できる ・想像力を作品にまとめる ・適切な文章や発言での表現 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み ・丁寧な作業や協力 ・準備や片付け ・定期テスト ・作者、作品への理解と共感

【評価基準】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	<ul style="list-style-type: none"> ・課題をよく理解でき、的確な作業ができる。 ・適切な道具の使用により自己の発案に基づいた、的確な表現ができる。 ・日本や世界の美術に興味を持ち系統的な美術の知識を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価が適切にできる。 ・作品について自分の見解を、適切な文章で表現できる。 ・自己のアイデアをより良くしようと工夫して作品にまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に授業に取り組める。 ・作者・作品について積極的に理解し共感できる
B	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を理解でき、作業ができる。 ・道具の使用について理解しより自己の発案に基づいた、表現ができる。 ・日本や世界の美術の系統的な美術の知識を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価ができる。 ・作品について自分の見解を、文章で表現できる。 ・自己のアイデアを作品にまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に取り組める。 ・作者・作品について理解し共感できる
C	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を理解や作業に一層の努力を要する。 ・道具の使用について一層の努力を要する。 ・自己の発案に基づいた、表現に一層の努力を要する。 ・日本や世界の美術の系統的な美術の知識を持つために一層の努力を要する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価についての一層の努力を要する。 ・作品について自分の見解を、文章で表現するための一層の努力を要する。 ・自己のアイデアを作品にまとめるための一層の努力を要する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に取り組む姿勢に一層の努力を要する ・作者・作品について理解し共感について一層の努力を要する。

【評価から評定への総括方法】

	評価の目安	達成値
5	十分に満足と判断されるもののうち、特に程度の高いもの	90%以上
4	十分に満足と判断されるもの	80%以上
3	おおむね満足と判断されるもの	50%以上
2	努力を要すると判断されるもの	20%以上
1	一層努力を要すると判断されるもの	20%未満